

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 402

事務事業名	おおむら夏越まつり開催事業
-------	---------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	商工観光部		
課名	観光振興課		
課長名	杉野 幸夫	内線	471
担当者名	田中 勝美	内線	242

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040401	歴史や自然を活かした観光のまちづくり
施策		観光交流のまちづくり
関連施策		

会計	一般会計		
款	7	商工費	
項	1	商工費	
目	4	まちづくり推進費	
事業コード	020100	おおむら夏越まつり開催事業	

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画	観光交流都市づくり計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市民、観光客、おおむら夏越まつり協賛会		
意図 対象をどのような状態にしたいか	大村市の夏の一大イベントとして定着しており、協賛会によるまつりの安定的運営と、市内外からの誘客を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	夏越まつり協賛会が毎年8月2、3日に開催する「おおむら夏越まつり」の事業費のうち、大やぐら・舞台設営費の一部を補助する。		
事業期間	昭和 55 年度 ~ 平成 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	大村市商工観光振興事業費補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 出演者数	計画値	3,000	3,000	3,000	3,000	主催者発表
		実績値	2,800	2,091	2,100		
	達成度	%	93.3%	69.7%	70.0%		
成果指標	① 人出数	計画値	100,000	100,000	100,000	100,000	主催者発表
		実績値	100,000	70,000	100,000		
	達成度	%	100.0%	70.0%	100.0%		
②		計画値					
		実績値					
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	1,512	1,512	1,512	1,512	1,512	1,512	1,512	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	2	2	2	2	2	2	2	
一般財源	1,510	1,510	1,510	1,510	1,510	1,510	1,510	
② 人件費(千円)	2,955	3,399	3,121	3,202	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.35	0.43	0.43	0.41	おおむら夏越まつり協賛会が開催する夏越まつりの一部に対して補助する。	おおむら夏越まつり協賛会が開催する夏越まつりの一部に対して補助する。	おおむら夏越まつり協賛会が開催する夏越まつりの一部に対して補助する。	
時間外勤務(時間)	87	74.8	44	110				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	4,467	4,911	4,633	4,714				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	収入の増額を図るため、夏越グッズ(シャツ、タオル)の販売及び協賛企業の新規開拓に取り組むとともに、経費削減に努めた。また、県内外からの誘客を図るため、テレビやホームページ等でのPRを行った。 市民会館代替地の確保については、協賛会と連携し検討を行っている。
事業が抱える問題・課題等	来年以降は、市民会館駐車場が使用できないため、代替地の確保が必要である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村の夏の風物詩として、市内はもちろん県内外からの誘客により経済効果をもたらしているため、観光イベントとして開催が必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村の夏の一大イベントとして、まつりの安定的運営と、地域振興を図るため、市の関与が必要がある。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村の夏の風物詩として定着しており、市内外から多数の誘客につながっている。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村市の「花」を中心とした観光のなかで、集客が厳しい夏場の大規模な誘客は大きな観光資源であり、施策効果は高い。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	大やぐら、舞台設営費の一部を助成しているが、協賛会員自ら設営作業に取り組むなど事業費の節減に努力している。大村市の夏の一大イベントとして数多くの市民が参加し、楽しみにしている祭りに対して、補助金削減は、規模や安定運営に影響が出てくる。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	大やぐら、舞台設営費の一部を助成しているが、協賛会員自ら設営作業に取り組むなど事業費の節減に努力している。大村市の夏の一大イベントとして数多くの市民が参加し、楽しみにしている祭りに対して、補助金削減は、規模や安定運営に影響が出てくる。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	市の補助を継続して行い、滞在型の魅力あるイベントの企画に努め、市外・県外からの観光客誘客を図る。また、市民会館代替地の確保について、引き続き協賛会と連携し検討する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。